

# 文芸さくらがわ

## 短歌

### 【石瀬短歌会】

くれないの鶴頭秋の終わるころ手のひら  
広げ種をこぼしぬ

渡辺しな子

運動会わが子を追いかけスマホにて写真  
撮る父母 秋空高し

仁平千代

大きな鯉はねたる音に境内の静寂一瞬に  
してやぶられぬ

大久保富美江

向き合つてよそゆき顔の喜寿の夫回転寿  
司のウニをほおばる

浜野和操

主義主張違えど今日まで添うてきた言い  
合いながら初老となりぬ

大関登志子

肩先が冷えていきなり秋がきたあわてて  
取り出す温風ヒーター

雨谷友子

一段と寒さ厳しき冬の日は熱々鍋物ネギ  
をたつぶり

泉三郎

竹ざるにばつくり割れた実柘榴と枝付き  
柿入れ卓上は秋

広澤日出子

足早に擦れちがふとき青春のいい香りし  
て朝の女生徒

鈴木英雄

豎桶を落つる雨音聞きながら深まる秋の  
紅葉をながむ

瀧井幸子

稻刈りの終わりし田の面は朝の陽に一息  
つけるベージュの絨毯

兒玉廣子

界隈に石を切る音いまは無く真壁街道秋  
陽に静か

川崎邦子

いつよりか思ひ寄せたり鎌倉の大仏に逢  
ふとイタリアの孫は来

小林美瑳子

Tの字に竿干しされてシャツ並ぶタイプ  
もコスパもどこ吹く風と

久保悦子

夕暮れの北風小僧をおい越して部活かえ  
りの自転車速し

瀧田勇

身障の義姉を案じて師走来ぬ都会の暮ら  
し身に馴染むとも

袖山千鶴子

句を友に一日炬達を一人占

東美子

冬の蠅セピアの草に温みたり 浅賀順子

山もみじ

初夢を思ひ出せずの夜もすがら 比呂子

佐都志

冬の水心の涙も沈めらる

宮本立夫

早梅に落ちくる天日まぶしかり

渡部千恵子

振り向くは待合室の大嘆

相田ひろし

老いてなほ力いっぱい葱を抜く

植竹ふみ

日向ぼこ開きしままの歎異抄 金子弘毅

冬の水確と月代捕らへたる 海老沢静夫

先ず釜の肌ひきしめ寒の水 君島真理子

高らかに皇帝ダリアの威厳なり

長堀芳江

筆持ちて留めると書初に

小林衛子

世界中戦争の中師走風

佐都志

句を友に一日炬達を一人占

東美子

冬の蠅セピアの草に温みたり 浅賀順子

山もみじ

初夢を思ひ出せずの夜もすがら 比呂子

佐都志

登る朝日が日毎に強く梅の蕾に出る笑顔

花野しぐれ

桟の豆まく元気な声の孫の笑顔は福の神

みーちゃん

補聴器付けたらルンルン気分内緒話も聞  
こえそう

みーちゃん

祝う節分卒寿を迎えて茶飲み干し出る元  
氣

田哲人

## 県西エリア不動産専門店

中古住宅 売却相談 無料査定  
そのまま 買います!! 片付け不要



あきやの未来

株式会社レステコホーム 桜川店 桜川市鍬田44

TEL.0296-71-5369

※どんなに古い空家でもご相談ください。



安心と笑顔を未来へつなぐ

稻川優子税理士事務所

桜川市西飯岡475-2

0296-73-6363

E-mail ina-tax.ceo@tkcnf.or.jp